

ヒロシマ・ナガサキ原爆展

核兵器の廃絶と世界平和を願って

彦根市は、世界の恒久平和を求め、昭和58年10月1日に「核兵器廃絶都市」を宣言しました。わが国は、世界で唯一の被爆国です。被爆者の苦しみや原爆の恐ろしさは、永久に語り継がなければなりません。このような核兵器による過ちが二度とくり返されないよう願ひ、また、市民一人ひとりの心に平和の尊さをしっかりと刻んでいただくため、「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」を開催します。多数ご来場ください。

今年、市役所や市立図書館に加え、市民会館ギャラリーでもパネル展を行います。こちらでもぜひご覧ください。

協力 広島平和記念資料館・(財)長崎平和推進協会

「平和市長会議」に加盟しています

彦根市は平成20年3月18日から平和市長会議に加盟しています。この組織は、「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する各国の都市で構成された団体です。核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で呼びかけるとともに、飢餓や貧困、人権問題などの問題解決のために努力することで、世界恒久平和の実現に寄与することを目的としています。

平和市長会議の行動は、彦根市の核兵器廃絶都市宣言の趣旨に沿うものであり、今後、加盟都市と力を合わせて、核兵器のない平和な世界の実現に取り組んでいきます。

彦根市は核兵器廃絶宣言都市です

原爆投下の日に慰霊と平和の祈りをささげましょう

広島市と長崎市での原爆死没者のめい福と、世界の恒久平和を願ひ、それぞれの家庭や職場、地域で、原爆が投下された時刻に黙とうをささげましょう。

原爆が投下された時刻	
広島市	8月6日 8:15
長崎市	8月9日 11:02

- 彦根市役所 1階ロビー**
 期間 8月3日(月)～同17日(月) 8:30～17:15 (土・日曜日は除く)
 展示内容 ●被爆現物資料 ●ビデオ上映 ●ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル
- 市立図書館開架室・第1集会室**
 期間 8月1日(土)～同16日(日) 10:00～18:00 (日曜日は10:00～17:00、月曜日は除く)
 展示内容 ●市民が描いた原爆の絵 ●ビデオ上映(8月2日(日)、同9日(日)のみ)
- 市民会館ギャラリー**
 期間 8月1日(土)～同17日(月) 9:00～17:00 (17日は9:00～16:00、火曜日は除く)
 展示内容 ●ナガサキ原爆写真パネル

問い合わせ先 団総務課 ☎30-6100番、FAX 22-1398番

彦根駅西口の歩道部分と彦根駅東口を新たに自転車等放置禁止区域に指定します

彦根市では、「彦根市自転車等の放置の防止に関する条例」に基づき、自転車等放置禁止区域を指定しています。平成9年に彦根駅周辺を、平成10年には河瀬駅周辺を、平成15年には南彦根駅周辺を放置禁止区域に指定し、放置自転車等を撤去しています。自転車等とは、自転車と原動機付自転車(50cc以下)を表します。

今回、下図のとおり、今まで禁止区域に指定していない彦根駅西口の歩道部分と、彦根駅東口を新たに自転車等放置禁止区域に指定し、放置自転車等の撤去を行います。

▼禁止区域内に放置された自転車等は撤去し、彦根市放置自転車保管所(ひこね燃はれず隣)に移動します。

▼チェーン錠などでガードレールやフェンスなどにつないである場合は切断します。(その損害に対する責任は負いません)

▼自転車は防犯登録を受けるとともに、必ず自転車駐車を利用しましょう。



- 返還場所** 彦根市放置自転車保管所(小泉町)
- 返還日時** 火・水・金・日曜日 午後3時～同7時(12月29日～1月3日を除く)
- 返還の時に必要なもの**
- ①免許証、学生証など身分を証明できるもの
 - ②自転車、原動機付自転車の力
 - ③移動保管料 自転車2、500円 原動機付自転車 3、700円
- 問い合わせ先** 団交通対策課 ☎30-6134番、FAX 24-8517番

彦根市消防団協力事業所を認定しました

彦根市消防団活動に積極的に協力している次の事業所を消防団協力事業所として認定しました。現在、市内で8事業所が認定されています。(7月認定)

- 小松電気八坂支店
- 彦根自動車学校

認定を受けるには
 事業主は、「彦根市消防団協力事業所表示制度実施要綱」に定められた申請書で申請してください。
 問い合わせ先 団消防総務課 ☎22-0314、FAX22-9427

彦根市は「低炭素社会構築都市」です

暑い夏。エアコンの温度設定をこまめに低くしてしまいがちですが・・・

だれもが手軽にできる、地球にやさしい行動と二酸化炭素の削減効果

- ①エアコンの夏の冷房時の室温は28℃を目安にする
 - 一世帯あたりの年間の二酸化炭素の削減効果 約137kg
 - 一世帯あたりの年間節約効果 約670円
- ②エアコンの冷房は必要ときだけつける
 - 一世帯あたりの年間の二酸化炭素の削減効果 約8.5kg
 - 一世帯あたりの年間節約効果 約410円
- ③エアコンのフィルターを月に1～2回掃除する
 - 一世帯あたりの年間の二酸化炭素の削減効果 約14.5kg
 - 一世帯あたりの年間節約効果 約700円

※「家庭の省エネ大事典」(2009年版、資源エネルギー庁・(財)省エネルギーセンター)より

問い合わせ先 団生活環境課 ☎30-6116番、FAX 27-0365番



Brasilia ようこそ!

第2回 八月の風

夏の終わりを日本が迎えるころ、ブラジルは冬にさよならを告げる時期を迎えます。霜を逃れ、実ったとうもろこしもいよいよ収穫が近づくころです。あたり一面を茶褐色に染められた畑のあちらこちらに、明るく花を咲かせるのがブラジルの国花、黄色のイペーです。イペーの花は四色あり、ピンクと紫が冬前に咲き、白が冬の間、そして、その寒さを吹き飛ばすかのように冬の終わりに咲き始めるのが黄色いイペーです。黄金のように輝くこの花を見るたびに心がはずみます。でも、実は喜んでばかりはいられない季節でもあります。なぜなら、私の町では8月に結婚すれば離縁になると言

われるほど、8月は悪いことが多く起きる月とされているからです。このころには風が強くなり始め、よく竜巻が発生します。ブラジルの民話のなかに、サスイペレレと言われるいたずら好きの少年が、赤い帽子をかぶりパイプを口にくわえ、竜巻の中から現れるという物語があります。彼は物を隠したり、人にいらぬうわさを吹き込んだりしてけんかをさせるのが趣味で、つむじ風によって移動し、いたずらを広げると言われています。竜巻の多い8月にはサスイペレレも出やすくなりますので、彼のささやきに惑わされないように気を付けなければいけません。【彦根市国際交流員 平田エジナ】



▲ブラジルの国花のイペー